

2023年3月10日

三菱UFJ信託銀行株式会社

デジタル社会における様々な社会活動に対応する分散型ID管理（DID/VC） の実証実験のお知らせ

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：長島 巖^{ながしま いわお}、以下三菱UFJ信託銀行）は、デジタル社会における様々な社会活動に対応するTrustの仕組み^{*1}を提供する検討にあたり、デジタル空間（メタバース）における分散型ID管理（DID/VC）^{*2}の実証実験を3月より開始することをお知らせします。本実証実験は、メタバース（仮想空間サービス）のサービス認証機能として分散型IDの発行・検証を行います。共創パートナーとなる、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（代表取締役社長：本間 洋^{ほんま よう}、以下NTTデータ）、株式会社HIKKY（代表：舟越 靖^{ふなごし やすし}、以下HIKKY）およびmonoAI technology株式会社（代表取締役社長：本城 嘉太郎^{ほんじょう よしたろう}、以下monoAI）と実施します。

三菱UFJ信託銀行は、本実証実験を通じ、新事業の創出に取り組み、共創パートナーと安心・安全なデジタル社会を形成することに貢献します。

■実証実験の背景

現在、様々なサービスの利用者はID管理が煩雑な状態にあり、特定の企業にID管理の権限や個人情報が集中することによる情報漏洩やなりすまし等のリスクが高まっています。その課題解決にあたり、デジタル社会では利用者が必要な情報（個人又は法人情報、運転免許証、学歴・職歴等）を選択して事業者に提示する仕組みが重要視されています。

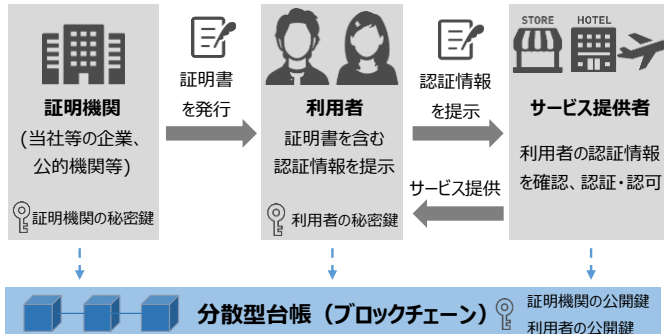
そのなかで分散型IDという、分散型台帳（ブロックチェーン）を活用した、中立的で特定の企業に依存しない考え方が広まっており、国際標準規格として検討が進んでいます。分散型ID管理の実用性検証のため、この度実証実験を行います。

<分散型ID管理の認証・認可>



課題を解決する新しい認証・認可方式(分散型ID管理)

- ✓ 分散台帳の強みを生かしてデータの信頼性を保証しながら、必要な情報のみを共有することで、認証・認可を効率化する仕組み



分散型ID管理の特徴

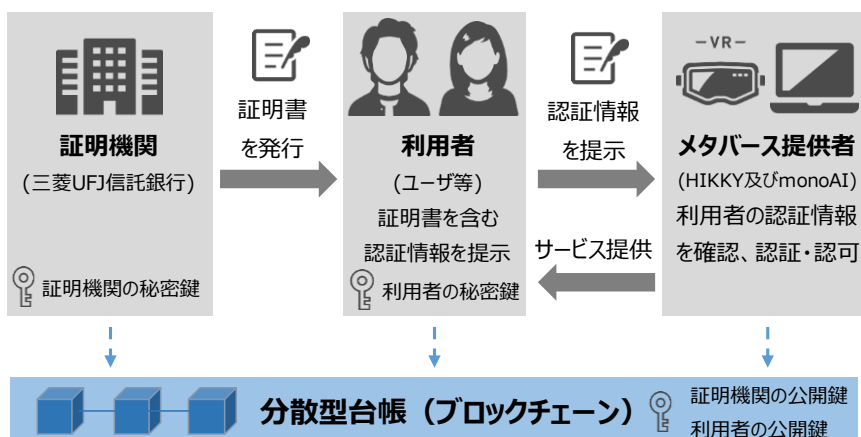
利便性	①	IDの一元管理。パスワード不要
	②	身分証明の取り直し不要 (ワンスオンリー)
プライバシー	③	個人情報を個人が管理 (自己主権型アイデンティティの実現)
	④	必要最小限の情報公開 (ゼロ知識証明)
セキュリティ	⑤	改ざん不可能
	⑥	トレース可能

■実証実験の概要

本実証実験では複数のメタバースを利用する利用者や個人クリエイターを想定し、三菱UFJ信託銀行はNTTデータの分散型ID管理基盤を活用のうえ共通認証規格を構築します。また、三菱UFJ信託銀行は証明機関として利用者の本人確認を行い、本人に電子的な証明書を発行します。利用者らはメタバースを利用する際に電子的な証明書から必要な情報を選択し、HIKKYおよびmonoAIに提示します。HIKKYおよびmonoAIは利用者らが提示する情報を分散型台帳で検証することで、証明書を発行した三菱UFJ信託銀行に問い合わせることなく本人の真正性を確認します。

三菱UFJ信託銀行はコロナ禍の採用活動や新しい店舗や窓口のあり方としてメタバースを検証してきました。本実証実験では共通認証規格によって事業者単位で発生する利用者登録の煩雑さやなりませし等を解消し、安心・安全にメタバースを利用できる仕組みを検証します。

実証実験のイメージ



三菱UFJ信託銀行は分散型ID管理による認証・証明のデジタルトランスフォーメーションに取り組むため、国際標準規格のTrust as a Service (TaaS) プラットフォームの構築を検討します。これによりメタバース、デジタルアセット、ウェブおよび現実社会における認証・証明の課題を解決し、デジタル社会における様々な社会活動を支えることを目指します。

*1 Trust の仕組みとは、内閣官房デジタル市場競争本部事務局によると特定サービスに過度に依存せず、ユーザー（自然人又は法人）自身が自らに関連するデータをコントロールすることを可能とし、データのやり取りにおける合意形成の仕組みを取り入れ、その合意の履行のトレースを可能としつつ、検証（verify）できる領域を拡大することにより、Trust の向上を目指すものと定義されています。

*2 DID : Decentralized Identifiers（分散型識別子）。World Wide Web Consortium（W3C）が提唱している国際標準規格

VC : Verifiable Credentials（検証可能な属性情報）

*3 [「Trusted Web ホワイトペーパーver2.0 概要」](#)（内閣官房デジタル市場競争本部事務局）スライド#3

以上